

各位

会社名 函館どつく株式会社
 代表者 代表取締役社長 服部 誠
 問合せ先 経営管理本部長 齋藤 洋一
 (TEL 0138-22-3111)

2026年3月期 決算に関するお知らせ

1. 2026年3月期 決算状況 (2025年4月1日～2026年3月31日)

(1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	33,682	△ 5.5	4,679	△ 26.5	4,755	△ 21.3	3,333	△ 36.6
2025年3月期	35,626	39.5	6,363	190.8	6,042	164.7	5,253	62.4

(2) 事業部門別売上高

(%表示は対前期増減率)

	新造船部門		修繕船部門		鉄構機械部門他		合計	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	24,017	3.1	8,849	△ 24.7	815	41.0	33,682	△ 5.5
2025年3月期	23,298	33.9	11,749	62.3	578	△ 35.0	35,626	39.5

2. 2026年3月期の概要

当期の業績は、新造船部門においては、CO2排出量20%削減・燃費性能向上など環境性能に優れ、2024年度北海道新技術・新製品開発賞（ものづくり部門）において「ものづくり大賞」「ゼロカーボン特別賞」を受賞した新開発の40千トン型ばら積運搬船「HIGH BULK40SE」3隻を含む5隻を完工引渡し、売上高は同型船連続建造効果による増産に円安が加わり、前年同期比719百万円増収の24,017百万円となりました。

修繕船部門においては、主力である海上自衛隊艦艇の工事が前期に比べて大幅に落ち込むと予想されたため、海上保安庁巡視船、民間船各種（フェリー・貨物船・漁船・曳船・作業船）など多種多様な船種の修繕工事を積極的に取り込みましたものの工数不足を埋めきれず、売上高は8,849百万円と過去最高水準であった前年同期に比べて大幅な減収となりました。

鉄構機械部門においては、橋梁1件、各種陸上機械、鋼構造物等の製作工事のほか、石油備蓄施設「ブイシステム」の大規模整備工事を完工引渡し、売上高はその他工事も含み前年同期比237百万円増収の815百万円となりました。

以上の状況により、全社の売上高は33,682百万円（前年同期比5.5%減）、営業利益4,679百万円（前年同期比26.5%減）、経常利益4,755百万円（前年同期比21.3%減）、当期純利益は3,333百万円（前年同期比36.6%減）と過去最高益を計上した前期に比べれば減収減益にはなりましたが、4期連続の黒字決算を達成することが出来、昨年5月13日に公表した業績予想値を売上高、営業利益、経常利益、当期純利益の何れもが上回りました。

2027年3月期決算につきましては、引き続き全社一丸となって生産性向上と経営の効率化を進め、収益改善と積極的な設備投資により事業基盤の強化に鋭意取り組んでまいります。

3. 2027年3月期の業績予想

売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
百万円 34,900	百万円 4,800	百万円 4,500	百万円 2,900

売上計上予定の対象となる未ヘッジ外貨は1米ドル当たり155円を前提としております

以上